

こう攻めた!

ネットワーク&システム構築事例レポート

ITソリューション最前線

セキュリティ
向上

ミスの
軽減

業務の
効率化

コスト
削減

vol.54 学校法人嘉悦学園嘉悦大学

ソフトウェアの購入費用を ゼロに抑えたスゴ技とは

「OSS (Open Source Software)」を活用してソフトウェアの購入費用をゼロに抑えることを実現した事例を紹介しよう。ソフトの開発、販売、サポート、コンサルティングなどを行っているオープンソース・ソリューション・テクノロジーが担当した導入事例だ。

Windowsからのスムーズな移行と システム的な制約の撤廃が課題

今回、OSSを最大限に活用して情報インフラの再構築を行ったのは、東京都小平市にある学校法人 嘉悦学園 嘉悦大学だ。今回の情報インフラ再構築にあたり、Active Directoryを使ったWindows Server環境からのスムーズな移行と、教育研究に関わるシステム的な制約の撤廃、さらにはセキュリティの向上という3つのポリシーが設けられていた。

学校法人 嘉悦学園 嘉悦大学 情報メディアセンター 副センター長（専任講師）田尻慎太郎氏は、「3つのポリシーはもちろん、OSSを最大限に活用することで、大学として最先端の環境を柔軟に導入することができた」とリリースでコメントしている。

さらには、「それを実現する上で、経験豊富なオープンソース・ソリューション・テクノロジーの高い技術力には非常に満足しています」と続ける。

2006年9月に設立されたオープンソース・ソリューション・テクノロジーは、OSに依存しないOSSのコンサルティングサービス、製品パッケージ、サポートサービス、教育サービスを提供している会社だ。

嘉悦大学の情報インフラに 数多くのOSSを採用した

嘉悦大学の情報インフラの概要は以下の通りだ。OSには無償のLinux OS「CentOS (Community Enterprise Operating System)」、システム認証基盤にはVPNのためのRadius認証にも利用できる「OpenLDAP (Lightweight Directory Access Protocol)」が採用された。

Windowsクライアント向け認証基盤およびファイルサーバーに「Samba」が採用された。今回、Sambaでは、既存のWindows Active Directory環境のユーザー／グループ情報を移行、置き換えを実施した。

Sambaには、UNIX/Linux上のフォルダー（ディレクトリ）をWindows

ここがシステム導入のキモ!

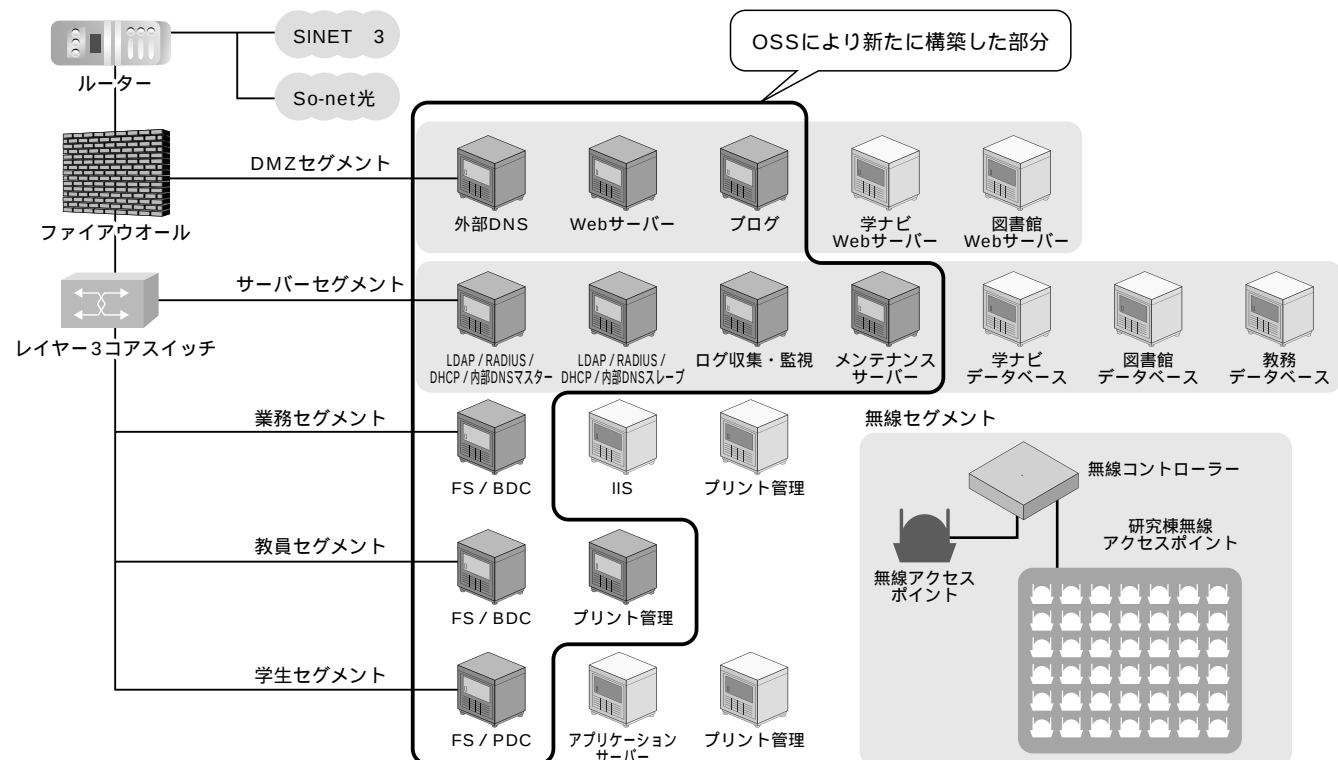
学校法人 嘉悦学園 嘉悦大学では、導入前の要件として、「Windows Server (Active Directory) 環境からのスムーズな移行」「教育研究に関わるシステム的な制約の撤廃」「セキュリティの向上」が求められたという。そして、これらの要件を満たしつつ、OSSを活用したことでソフトウェアの購入費用をゼロ円に抑えられ、大幅なコスト削減も実現した。

クライアントへ共有フォルダーとして提供できる「ファイルサーバ機能」、UNIX/Linuxマシンに接続されたプリンターをWindowsクライアントへ共有できる「プリンターサーバー機能」のほか、「ドメインコントローラ (PDC、BDC) 機能」「ドメインメンバ機能（認証プロキシ機能）」が備わっている。

SambaとOpenLDAPは、オープンソース・ソリューション・テクノロジーが得意とする分野だ。

そして、メール送信サーバーに「Postfix」（受信メールにはGoogleの「Gmail」が採用された）、メーリングリストサーバーには「Mailman」、Webサーバーには「Apache」と「PHP (Hypertext Preprocessor)」が採用された。さらに、データベースには「MySQL」、運用監視サーバーには「Nagios」と「Syslog-ng」、DNSサーバーには「Bind (Berkeley Internet Name Domain)」、全文検索システムには「Hyper Estraier」が採用されている。

■嘉悦大学の情報インフラ基盤のネットワーク図



※SINET (Science Information Network: 日本の学術研究用ネットワーク)

今回のリプレースに対して、デル製のサーバー「PowerEdge2950」を新規に9台が導入された。

文教市場への導入はもちろん 官公庁や企業への導入も視野に

今回、新規に導入したソフトウェアをすべてOSSで賄ったため、ソフトウェアの導入費用がゼロ円となった。

嘉悦大学の田尻氏は、「前回の構築時に比べて導入費用を大幅に削減することができ、運用面まで考慮するとその効果はさらに大きく、本学のような文系大学における最適なソリューションを実現できたと考えています」と評価する。

一方のオープンソース・ソリューション・テクノロジーでは、嘉悦大学のシステムの再構築の事例は、一般

的な大学の情報インフラをOSSのみで構築できることを実証したとしている。さらには、大学だけではなく、官公庁や企業における情報インフラをもOSSで構築するための好事例になると期待しているという。

オープンソース・ソリューション・テクノロジーでは、今後も様々なSIerの方々と協力して、OSSの導入を促進していくという。(編集部)

■嘉悦大学の情報インフラ基盤の概要

OS	CentOS (無償のLinux OS)
システム認証基盤	OpenLDAP (VPNのためのRadius認証にも利用)
Windowsクライアント向け認証基盤およびファイルサーバー	Samba (既存Windows Active Directory環境のユーザー／グループ情報を移行し、置き換え)
メール送信サーバー	Postfix (メール受信はGMailを利用)
メーリングリストサーバー	Mailman
Webサーバー	Apache、PHP
ブログソフト	WordPress
データベース	MySQL
運用監視サーバー	Nagios、Syslog-ng
DNSサーバー	Bind
サーバーマシン	デル「PowerEdge2950」を9台